

## 国語総合

## 問題用紙

【一】次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

昨今、メディア・リテラシーという言葉が時代のキーワードとしてクローズアップされています。2020年から順次実施されていく学校教育の新学習指導要領でもその重要項目として「メディア・リテラシー教育」が挙げられています。

「リテラシー」とは本来「読み書きする能力、識字能力」の意味。そこから派生した「メディア・リテラシー」とは、テレビ、新聞、インターネットといったあらゆるメディアの情報をしっかりと読み解き、<sup>a</sup>真偽を見極める能力、つまり、<sup>1</sup>メディアの情報読解力のことを指します。

(A) インターネットの普及を境にメディアの多様化が進み、私たちは常にあらゆるメディアに接して、そこから発せられる膨大な情報に取り囲まれながら生活しています。

(B) 世の中にあふれる情報は、そのすべてが正しいとは限りません。そこにはまったくのウソやデタラメ、根拠のない情報、誇張や<sup>b</sup>偏りのある情報など、不確かで怪しい情報も数多く混在しています。そうした時代を生き抜くために、これまで以上に正しい情報を識別し、適切に判断する能力<sup>2</sup>メディア・リテラシーの必要性、重要性が高まっているのです。現代社会におけるメディア・リテラシーを語る上で、とりわけ重要なのが<sup>2</sup>「インターネット上の情報」との向き合い方でしょう。

必要な情報がいとも簡単に手に入るという意味で、インターネットがこの上なく便利なメディアであることには異論はありません。ただ、常に意識しておかなければいけないのは、インターネットから得られる情報は「玉石混淆<sup>玉石混淆</sup>」だということです。

専門家や学者先生が発信している正確で有益な情報から、その辺の誰かが適当に書き込んだ根拠のない情報、さらには意図的に捏造<sup>ねつぞう</sup>された情報まで、十把一絡げでごちゃ混ぜに存在しているのがインターネットの世界です。そこでは「<sup>3</sup>玉」よりも、むしろ「石<sup>石</sup>間違った情報」のほうが多いかもしれません。

(C) そうした「石」の情報ほど独り歩きしやすい傾向があります。ネットの世界では何の根拠も確認もない誤った情報(デマ)が瞬く間に不特定多数に拡散し、收拾がつかなくなるといった状況が珍しくありません。グリム童話『ハーメルンの笛吹き男』のように、吹き鳴らされた笛(流された情報)につられて、判断力のない子どもたち(鵜呑みにしてしまう人たちが群れになってついてしまう)のような現象が起こり得るのです。

2016年の熊本地震の発生直後、ツイッターに「動物園からライオンが放たれた」という一文がライオンの画像とともに投稿されました。この投稿はたちまち多くのリツイートによって拡散し、動物園や警察に問い合わせが殺到。ところがこの投稿はまったくのデマで、ライオンの画像も無関係な写真だったのです。最終的に投稿者は逮捕されたのですが、実に多くの人がウソのネット情報に翻弄<sup>はんろう</sup>されてしまったわけです。

膨大かつ玉石混淆で、正しい情報も愉快的な悪意あるウソ情報も、何もかもが同じ土俵に上げられてしまう。インターネット情報の特徴は、そうした圧倒的な網羅性と並列性にあります。そして、私たちは自分自身で、情報の真偽や正誤を判断して取捨選択しなければなりません。

手軽に、簡単に情報が入手できる時代(D)、それが「玉」なのか「石」なのかをしっかりと見極めるために、冷静になって能動的に真偽を判断読解するスキルが求められるのです。

(E) SNSやブログの普及によって、今や誰もが自由に情報を発信できる。一億総発信時代<sup>1</sup>になつていきます。そんな時代ゆえ、情報の真偽を判断できないというリスクは、間違った情報を誰かに発信(シェア)するリスクにも直結してしまいます。「ライオンが逃げた」のようなデマの拡散はその。顕著な例と言えるでしょう。

情報を受け取るときも、情報を発信するときも「私たち現代人は常に、自らの(F)を問われる時代に生きているのです。」

(斎藤 孝『大人の読解力を鍛える』)



問一 二重傍線部の a、c の漢字の読みを平仮名で答えなさい。

問二 傍線部 1 「メディアの情報読解力のこと」とあるが、具体的にはどのようなことか。本文中の語句を抜き出し、三十五字以内で答えなさい。(カギ括弧、句読点も字数に含める。)

問三 傍線部 2 「インターネット上の情報」との向き合い方』について筆者は、どういう向き合い方を  
しなくてはいけないと考えているのか。本文中の語句を用いて四十字以内で説明しなさい。  
(カギ括弧、句読点も字数に含める。)

問四 傍線部 3 「玉」は、具体的に何を指し示すのか、本文中の語句から八文字で抜き出しなさい。  
(カギ括弧、句読点も字数に含めない。)

問五 空欄 A、E に入る適当な接続詞を次のア、イ、ウ、エ、オの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。  
ア、だからこそ    イ、ただ    ウ、さらに    エ、とくに    オ、また

問六 空欄 F に入る語句を本文中から選び書きなさい。

問七 次のア、イ、ウ、エ、オのうち、本文の内容と合致するものには○、合致しないものには×をそれぞれに記しなさい。

ア、インターネットの情報は、様々な情報がごちゃ混ぜになっていて便利なものとは言えない。  
イ、インターネットの情報では、悪意ある情報が正しい情報よりも多く取り上げられている。  
ウ、インターネット情報に振り回されるのは、情報読解力のスキルが不足しているからである。  
エ、情報社会の中で私たちは様々な情報から、その真偽や正誤を適切に判断しなくてはならない。  
オ、現代は膨大な情報の真偽を見極める能力よりも、正しい情報を発信することが大切である。

【二】 次の①～⑤の片仮名の語を漢字で書きなさい。

- ① 英語を日本語にホンヤクする。
- ② 江戸幕府がリユウセイを極める。
- ③ 理由をタンテキに述べる。
- ④ 方法をショウサイに説明する。
- ⑤ 町のキカン産業が発展する。



【三】次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

皆さんは、雑談と言えば、どのようなやりとりを思い浮かべるでしょうか。友達とのたわいない話、昼食時間の会話、美容師さんとの会話、営業先でのクライアントとの会話、会議の休憩時間の会話等、人によつてさまざまな状況を思い浮かべることでしょう。

このような会話は、制度的談話と非制度的談話の二つに大別できます。制度的談話とは、制度的な場面(教育、医療、ビジネス等)で、1 社会的な(制度上の)役割を担っている人々の間で行われるやりとりのことです。たとえば、先生と生徒、医師と患者、課長と課員、店員とお客さんとのやりとりがこれにあたります。共通した特徴としては、達成すべき課題があること(授業であれば知識の伝達、医療であれば診察と診断、ビジネスであれば組織の目的達成、セールス場面では販売等)や、参加者間にパワーの差があるといったことがあげられます。一方、非制度的談話は、いわゆる日常会話のことです。雑談は、制度的談話、非制度的談話のいずれにおいてもみられます。

雑談の研究は、ことばの交感的使用(Phatic communion)に初めて着目した人類学者のプロニスワフ・マリノフスキーの研究にまでさかのぼります。

交感的言語使用とは、情報を求めたり伝えたりするのではなく、人と人との結びつきを確立したりホジしたりする社会的機能を果たすコミュニケーションのことで、「こんにちは」といった挨拶や、「久しぶり、最近どう?」「元氣元氣」「お出かけですか?」「ちよつとそこまで」「もうかりましたか?」「ぼちぼちでんな」といったちよつとしたことばのやりとりがこれに含まれます。マリノフスキーは、交感的言語使用の主要な目的を、1 チンモクを避けることと对人的脅威を避けることとし、情報伝達という観点からは、2 目的を果たさないと否定的にとらえていました。

確かに情報伝達という点では、このようなことばの交感的使用は、無目的にとらえられるかもしれませんが、ことばの起源を考える際、狩りなど複数人で行う際にコミュニケーションをとるために生まれてきた、つまり情報を伝達するために生まれてきたと考えることが一般的でしょう。

しかし、ことばの起源は、情報伝達ではなく、良好な関係を築くためだという考え方もあります。これが、進化生物学者・人類学者のロビン・ダンバーの説です。サルが集団が大きくなって「毛づくろい」ができなくなつたとき、それに代わるコミュニケーション手段として生まれたのが人間の「ゴシツプ」言語「だつた」というのが彼の仮説です。毛づくろいは、動物が進んで他の個体の同盟者として行動しようという意欲と密接に関係した行為で、高等霊長類では、群れが大きいほどその時間が長いということです。ことばは、人間が大規模な群れに必要な毛づくろいの時間を、カクホできなくなつたため、これに代わるものとして進化したと考えたのです。ここでいうことばとは、内容のないことばの交わし合い(ゴシツプ、雑談)とされます。

雑談は人と人の(X)を紡いでいくという観点から非常に重要であり、人と人の(X)を紡ぐことが、むしろ言語使用の主目的だとも言えるのかもしれない。

社会言語学からのアプローチで、二〇〇〇年に、初めての体系的な研究書「*Social Grammar*」が出版されました。雑談を、談話の中で会話参加者がダイナミックに共同で構築する相互行為としてとらえたのです。談話の対人関係に関わる機能(Phaticity 交感性)は、参加者同士によつて相互的かつダイナミックに構築されるため、雑談が非雑談かの二項対立ではなく、両者を連続性があるものと考えました。

日本語による雑談の体系的な書籍としては、筆者らの共同研究の成果である『雑談の美学言語研究からの再考』があげられます。

(村田和代『優しいコミュニケーション』)



問一 二重傍線部の a、b の漢字の読みを平仮名で答えなさい。

問二 傍線部 1 「社会的な(制度上の)役割を担っている人々の間」には、どのような関係があるのか。本文中の語句を抜き出し、十二字で答えなさい。(カギ括弧、句読点は字数に含めない。)

問三 傍線部 2 「目的を果たさない」とは、どういうことか。本文中の語句を用いて二十五字以内で説明しなさい。(カギ括弧、句読点も字数に含める。)

問四 空欄 X に入る適当な語句を次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア、多様性      イ、関係性      ウ、独創性      エ、芸術性      オ、論理性

問五 二重傍線部の c、e の片仮名の語を漢字で書きなさい。



## 令和6年度 英語

※解答はすべて解答用紙に記入すること。

1. 次の英文を読み、設問に答えなさい。(配点 50点)

Vail Horton owns a multi-million dollar medical equipment company. Anthony Schwager creates and markets dozens of popular products made ( 1 ) his bee farm's honey. What's special about these two entrepreneurs is that Mr. Horton has no legs, and Mr. Schwager is mentally challenged. These are just two of the millions of people who refuse to let their disabilities (a) stand in their way of success.

It's estimated that there are at least 650 million people around the world with a physical or mental disability. Despite their difficulties, disabled people want to be ( A ) members of society. They're earning university degrees in everything from biology to computer science. There are also special training programs which prepare disabled people ( 2 ) work in offices, schools, and many other workplaces.

(b) For all this progress, more needs to be ( B ) to bring disabled people into the workforce. Technology is a key help. So-called adaptive technologies make it possible for those with visual, hearing, or other disabilities to handle a wide range of tasks. For instance, special software can print the contents of a computer screen in Braille ( 3 ) a blind person can read it. Other types of software can read a screen aloud or increase the size of text. Disabled workers welcome these advances as doors to very many professions.

Nevertheless, companies are often (c) reluctant ( 4 ) hire people with physical or mental challenges. Employers worry about disabled workers taking too much time off or having trouble executing their tasks. The evidence shows these concerns to be not based ( 5 ) fact, yet unemployment rates for disabled workers still remain high.

Given the large number of disabled people worldwide, just ( C ) a mentally or physically challenged person on staff can be a big advantage. They can help design, develop, and test products made for disabled consumers. It's a profitable market, estimated to be worth some £80 billion per year in the UK alone. Yet we still have a long way to go to educate employers and non-disabled employees about the advantages of hiring and working with disabled people.

entrepreneurs 企業家    mentally challenged 知的障害を持った    Braille 点字

問 1. 本文中の空白 ( 1 ) ~ ( 5 ) に入る最も適切な単語を下記の中から選び、その記号を書きなさい。

- A. for    B. whose    C. how    D. in    E. so    F. on  
G. at    H. from    I. to

問 2. 下線部 (a) ~ (c) と同義の語句を選び、その数字を書きなさい。

- (a) 1. go ahead    2. increase    3. catch    4. block  
(b) 1. About    2. Despite    3. In    4. According to  
(c) 1. hesitant    2. joyful    3. miserable    4. interested

問 3. 本文中の空白 (A) には動詞 produce から派生した形容詞 (「生産力のある」という意味) の単語が入る。また、空白 (B) には動詞 do の変化形 (1語)、空白 (C) には動詞 have の変化形 (1語) が入る。それぞれの語を英語で書きなさい。

問 4. 本文中から以下の意味の語句を探し、英語で書きなさい。

- (1) 「医療機器」(2語)  
(2) 「生物学」(1語)

問 5. 次の文について、本文の内容と一致するものには○、一致しないものには×を付けなさい。

- ア. アンソニー・シワガーはハチミツ製品で成功を収めている。  
イ. 障害を持った人々に対する雇用率は順調に高くなり続けている。  
ウ. 障害を持った人々の雇用は、アメリカだけで約 800 億ドルの価値が見込まれる。

2. 次の A ~ E の各語の中に、下線部の発音が他と異なる語がそれぞれ 1 つある。その語の数字を書きなさい。(配点 10点)

- A. 1. length    2. thought    3. health    4. worthy  
B. 1. breakfast    2. break    3. headache    4. stake  
C. 1. treat    2. complete    3. sweat    4. meet  
D. 1. coal    2. whole    3. road    4. call  
E. 1. cease    2. disease    3. increase    4. Greece

3. 次の各組の中で第2音節に最も強いアクセントがある語を1つ選び、その語の数字を書きなさい。(配点 10点)

- A. 1. ho-tel    2. char-ac-ter    3. im-pulse    4. in-stru-ment  
B. 1. dif-fer-ence    2. ig-no-rance    3. oc-ca-sion    4. en-ter-tain  
C. 1. op-po-site    2. oc-cur    3. vol-un-ter    4. vol-ume  
D. 1. per-son-al    2. di-rec-tion    3. gov-ern-ment    4. un-der-stand  
E. 1. con-fer-ence    2. con-trar-y    3. in-vi-ta-tion    4. pre-cise



4. 次の各文の ( ) に入る最も適切な語句を 1 ~ 4 から選び、その数字を書きなさい。(配点 15 点)

A. You had better ( ) to see the doctor.

1. went    2. go    3. going    4. to go

B. He is ( ) a great actor.

1. known as    2. known by    3. known    4. known to

C. It's time for lunch. You ( ) wash your hands.

1. would    2. will    3. should    4. have

D. The boy ( ) hair is brown is my brother.

1. whom    2. who    3. which    4. whose

E. You can play the guitar ( ) better than I can.

1. very    2. much    3. more    4. less

5. 次の会話文は看護師(N)と患者(P)の会話である。文中の空所(1)~(5)に入る最も適切な文を下段の英文から選び(1回のみ)、その記号を書きなさい。(配点 15 点)

N: ( 1 )

P: I'm a bank clerk.

N: ( 2 )

P: Yes, I'm allergic to milk.

N: ( 3 )

P: It's okay.

N: Let's take your blood pressure. ( 4 )

P: ( 5 )

N: It's slightly high.

- 
- a. Please extend your right arm.  
b. What is your general state of health?  
c. What kind of work do you do?  
d. Is my blood pressure normal?  
e. Do you have any allergies?